



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL http://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,310	△2.5	1,003	△12.7	1,107	△7.9	824	16.7
25年3月期第3四半期	15,707	0.4	1,149	14.4	1,202	12.3	706	26.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,343百万円(83.1%) 25年3月期第3四半期 733百万円(24.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	61.69	—
25年3月期第3四半期	50.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,702	18,746	86.4
25年3月期	21,626	18,190	84.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,746百万円 25年3月期 18,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

26年3月期 期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

普通配当 14円00銭

配当予想の修正につきましては、本日(平成26年2月7日)公表致しました「配当予想の修正(増配・記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,110	1.4	1,555	11.7	1,655	13.7	1,010	13.9	72.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	14,056,198株	25年3月期	14,056,198株
26年3月期3Q	1,162,143株	25年3月期	605,779株
26年3月期3Q	13,362,266株	25年3月期3Q	14,050,572株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）のわが国経済を取り巻く環境は、「アベノミクス」による円高是正や株価上昇、雇用情勢の改善などを背景として、個人消費は持ち直し、物価は底堅く推移しており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動の懸念はあるものの、景気の回復基調が続くことが期待されています。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change & Challenge」の初年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、4つの柱（i. 既存事業の深化、ii. 新商品・サービス開発、iii. 新規顧客開拓、iv. 新事業領域開拓）へ経営資源を集中投入すべく、販売及び開発の体制を見直し、既存事業を強化しつつ新規開拓専任の部署を設けて新たな分野への仕掛けを積極的に続けております。また、製造面では、今秋稼働を目指して掛川市に建設中の新工場の工事も順調に進んでおり、BCP対策を着実に進めるとともに、事業拡大に向けた生産性及び品質の向上に取り組んでいます。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

連結売上高につきましては、医療栄養食におけるOEM生産の減少が響き、153億10百万円（前年同四半期比3億96百万円、2.5%減）となりましたが、主力の調味料事業は前年並み、水産物事業では増収となりました。利益面につきましては、売上高の減少および積極的な研究開発投資に伴い、連結営業利益は10億3百万円（同1億45百万円、12.7%減）、連結経常利益は11億7百万円（同95百万円、7.9%減）となりました。連結四半期純利益は法人税等の減少により8億24百万円（同1億17百万円、16.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。なお、当連結会計年度より、従来「その他」に含めていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めた記載に変更し、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（調味料）

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高は前年をわずかに上回り66億15百万円（前年同期比0百万円、0.01%増）、セグメント利益（営業利益）は9億82百万円（同42百万円、4.5%増）となりました。

（機能食品）

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、医療栄養食のOEM製造販売が4億19百万円減少した影響で、売上高は48億28百万円（同5億40百万円、10.1%減）、積極的な研究開発投資に伴い、セグメント利益（営業利益）は4億28百万円（同2億21百万円、34.0%減）となりました。

（水産物）

水産物は、主に冷凍鮭・冷凍鯉の原料販売並びに加工製品の製造販売です。鮭の販売が外食向けを中心に好調に推移したことから、売上高28億98百万円（同2億5百万円、7.6%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、前期から続く原料高の影響はあったものの、販管費の節減等で30百万円（同9百万円、48.2%増）となりました。

（その他）

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は9億66百万円（同62百万円、6.1%減）、セグメント利益（営業利益）は65百万円（同3百万円、6.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、217億2百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が3億81百万円、商品及び製品が65百万円、原材料及び貯蔵品が1億23百万円増加した一方、現金及び預金が14億95百万円減少したことにより9億63百万円減少し、102億65百万円となりました。

固定資産は、新工場の建設に伴い建設仮勘定が6億31百万円増加、投資有価証券が株価の上昇等により6億29百万円増加したことなどにより10億39百万円増加し、114億37百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億44百万円、未払法人税等が94百万円、賞与引当金が75百万円減少したことなどにより4億17百万円減少し、26億82百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が71百万円減少したことなどにより62百万円減少し、2億73百万円となりました。

純資産は利益剰余金が5億14百万円、その他有価証券評価差額金が4億50百万円増加した一方、自己株式が4億77百万円増加したことなどにより、5億56百万円増加し187億46百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,118,530	1,622,684
受取手形及び売掛金	4,814,110	5,195,351
商品及び製品	1,339,387	1,404,639
原材料及び貯蔵品	1,709,522	1,833,443
繰延税金資産	148,956	152,778
その他	106,496	65,526
貸倒引当金	△8,200	△8,928
流動資産合計	11,228,802	10,265,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,420,677	2,361,902
機械装置及び運搬具(純額)	1,266,325	1,235,217
土地	3,419,907	3,433,380
リース資産(純額)	58,597	50,241
建設仮勘定	124,600	756,283
その他(純額)	65,290	66,617
有形固定資産合計	7,355,398	7,903,643
無形固定資産		
	170,305	138,799
投資その他の資産		
投資有価証券	2,585,426	3,215,358
繰延税金資産	5,486	4,925
その他	293,987	183,028
貸倒引当金	△12,639	△8,621
投資その他の資産合計	2,872,260	3,394,691
固定資産合計	10,397,964	11,437,134
資産合計	21,626,767	21,702,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,904,313	1,760,301
リース債務	18,767	20,244
未払法人税等	343,899	249,881
未払消費税等	38,209	38,592
賞与引当金	115,854	40,311
役員賞与引当金	—	14,998
その他	679,033	557,777
流動負債合計	3,100,076	2,682,107
固定負債		
リース債務	47,254	35,609
繰延税金負債	66,064	86,397
退職給付引当金	199,299	127,765
長期未払金	13,434	13,434
その他	10,465	10,465
固定負債合計	336,520	273,672
負債合計	3,436,596	2,955,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,363,862	11,878,823
自己株式	△489,245	△967,027
株主資本合計	17,906,393	17,943,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,459	749,062
為替換算調整勘定	△14,682	54,215
その他の包括利益累計額合計	283,777	803,277
純資産合計	18,190,170	18,746,850
負債純資産合計	21,626,767	21,702,629

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,707,108	15,310,256
売上原価	12,018,727	11,778,052
売上総利益	3,688,381	3,532,204
販売費及び一般管理費	2,539,003	2,528,427
営業利益	1,149,377	1,003,776
営業外収益		
受取利息	2,184	5,664
受取配当金	40,209	50,181
受取賃貸料	11,810	11,504
為替差益	18,787	35,764
保険収益	45,964	—
その他	32,228	43,904
営業外収益合計	151,184	147,018
営業外費用		
支払利息	309	324
匿名組合投資損失	31,691	—
たな卸資産廃棄損	21,234	20,055
保険解約損	11,689	16,157
その他	33,327	7,025
営業外費用合計	98,252	43,562
経常利益	1,202,309	1,107,232
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	1,304	7,825
投資有価証券償還益	8,086	—
保険収益	4,865	—
国庫補助金	6,565	—
特別利益合計	20,827	7,825
特別損失		
固定資産除却損	12,709	16,273
災害による損失	3,527	—
固定資産圧縮損	6,118	—
賃貸借契約解約損	34,564	—
会員権売却損	—	3,014
特別損失合計	56,920	19,288
税金等調整前四半期純利益	1,166,216	1,095,770
法人税等	459,689	271,452
少数株主損益調整前四半期純利益	706,527	824,318
四半期純利益	706,527	824,318

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	706,527	824,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,450	450,602
為替換算調整勘定	△10,059	68,898
その他の包括利益合計	27,390	519,500
四半期包括利益	733,917	1,343,818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	733,917	1,343,818
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,614,858	5,368,902	2,693,892	14,677,653	1,029,455	15,707,108	—	15,707,108
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	5,640	4,355	9,995	19,925	29,921	(29,921)	—
計	6,614,858	5,374,542	2,698,248	14,687,649	1,049,381	15,737,030	(29,921)	15,707,108
セグメント利益	940,813	649,967	20,434	1,611,215	61,826	1,673,041	(523,663)	1,149,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額523,663千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,615,741	4,828,857	2,898,962	14,343,561	966,694	15,310,256	—	15,310,256
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	9,104	9,104	—	9,104	(9,104)	—
計	6,615,741	4,828,857	2,908,066	14,352,665	966,694	15,319,360	(9,104)	15,310,256
セグメント利益	982,915	428,739	30,290	1,441,945	65,797	1,507,742	(503,966)	1,003,776

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額503,966千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めて記載することに変更しております。これは、当社グループのオーケー食品株式会社が平成25年3月31日付けで当社に事業譲渡を行い、同日付けで解散したことにより、当社において「調味料」と「各種わさび類他香辛料」とを一体として業績を評価することとしたためです。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報」に記載しております。

変更後の各報告セグメントの主要な製品及びサービスは次のとおりであります。

(報告セグメント)

調味料	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具材・惣菜、各種低塩調味料、調味料類受託加工、各種わさび類他香辛料
機能食品	各種海洋機能性素材、キッチン・キットサン・オリゴ糖類、医療栄養食を含む各種機能食品、各種機能食品受託加工
水産物	冷凍マグロ・カツオ加工、水産物問屋業、倉庫業

(重要な後発事象)

1. 資金の借入

当社は、平成26年1月15日開催の取締役会に基づき、株式会社静岡銀行との間で金銭消費貸借契約を以下の通り締結し、借入を実行いたしました。

- (1) 借入金額 15億円
- (2) 借入の用途 設備投資資金
- (3) 借入先 株式会社静岡銀行
- (4) 借入実行日 平成26年2月4日
- (5) 返済期限 平成29年2月3日
- (6) 借入利率 0.23%
- (7) 担保の状況 無担保

2. 自己株式の消却

当社は、平成26年2月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議いたしました。

- (1) 消却の理由 発行株式数の減少を通じた一層の株主利益の増進を図るため
- (2) 消却する株式の種類 当社普通株式
- (3) 消却する株式の数 1,000,000株（発行済株式総数の7.11%）
- (4) 消却日 平成26年2月17日